



進路通信～高きに登る心もて

第3号
2024. 6. 18 発行

◆1学期期末考査まであと1週間・・・「受験レベルの学力」は授業の徹底復習から！◆

1, 2年生は今年度から中間考査が「スリム化」されたため、期末考査がその分ずっしり重くなっています！試験勉強は進んでいますか？定期考査は、学んだことがきちんと身についているか？今の勉強法で大丈夫か？を振り返る大切な機会です。もちろん、考査の得点は成績評価に直結します。受験時に提出する調査書には学年末の成績が記載されるため1学期の成績は途中経過ですが、ここで1学期を振り返り、夏休みをどのように過ごすかを考えることが、2, 3学期に伸びるための重要ポイントになります。3年生は1学期末の成績が超重要！年内に「総合型選抜」や「学校推薦型選抜」を受験する人は1学期末で高校3年間の「評定平均値」が決定します。たぶん多くの3年生が期末考査には今まで以上の緊張感を持って臨んでいると思います。

期末考査が終わると進研模試、それからすぐに椎樹祭。何かと忙しい高女生には勉強以外にもやる事が多く大変ですが、勉強を後回ししながら「受験生になったら頑張る」「学校のテストは模試や受験とは関係ない」「受験科目以外の科目を勉強する必要はない」なんて「謎理論」を言い訳がましく主張している人はいませんか？受験勉強は3年間の積み重ね。定期考査レベルの基礎・基本・典型問題が身に付いてないのに、難しい入試問題が解けるはずはありません。高校生活で学ぶこと、経験することは、すべてあなたという種子を成長させる土壌のようなものです。全教科・全科目が土壌の成分。受験に必要な科目はありません。

定期考査を一夜漬けにせず、受験に必要な基礎・基本を深く定着させる機会にしよう。「千里の道も一歩から」。

◆知っておきたい、気になる「評定平均値」の計算方法◆

ところで「評定平均値」は、どのように計算するのでしょうか？計算方法は次のように至ってシンプルです。

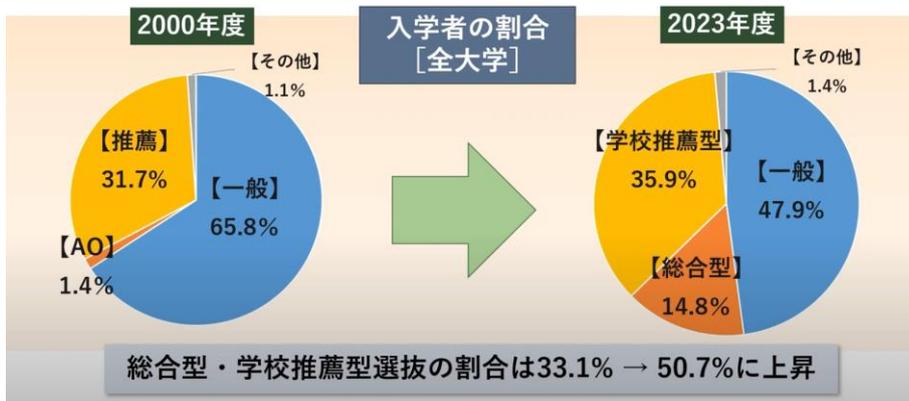
$$\text{評定平均値} = \text{全科目の評定 (5段階) の総合計} \div \text{科目数} \quad (\text{小数点以下第2位を四捨五入})$$

全科目平等なウエイトを占めるのが肝所。英語や数学のように毎日授業があつて予習・復習・課題たっぷりの科目も、週1だけの保健も計算上は同じ扱いです。こうして求めた評定平均値をA～Eにランク付けしたものを「学習成績概評」と呼びます。A～Eの基準は次のとおり。**評定平均値と合格大学には強い相関があります。**

- A段階 (4.3～5.0)** 難関大学、特に国公立に合格したいなら、入試方法を問わずA段階を取ってこよう。
- B段階 (3.5～4.2)** 奨学金や多くの公募推薦の基準は3.5以上。高女生の平均はB段階の真ん中くらい。
- C段階 (2.7～3.4)** C段階に入れば成績は「普通」。及第点は取れている。まずは得意科目を伸ばそう。
- D段階 (1.9～2.6)** D段階以下になると成績不振科目を持つことが多く、推薦可の大学はほぼない。
- E段階 (1.8以下)** 進級・卒業すら困難となる可能性大。

いわゆる年内入試と呼ばれる「総合型選抜」や「学校推薦型選抜」では、評定平均値が出願条件になることが多く、0.1ポイントでも基準を下回ったら受験すらできません。「一般選抜」ではさほど評定平均値は重視されませんが、評定を点数化したりボーダーラインで合否判定に用いたりすることはあります。近年、一般選抜以外の大学入学者が年々増えています。2000年以降の数年間だけでも下図のとおり。国公立大学では総合型選抜や学校推薦型選抜による入学者の割合はまだ23%程度ですが

早期に30%以上まで引き上げるようになっていきます。一般選抜を突破できる学力を付けることが受験の基本ですが、**評定平均値をしっかりとっておくことは「受験の可能性を広げ、将来の選択肢を増やす」**ために重要です。期末考査、頑張ってください！



◆卒業生からの近況報告◆

この春高女を卒業し、後輩のために「進路サポーター」として連絡先を登録してくれた先輩達から近況報告のメールが届きました。その一部を紹介します（氏名は本人希望のペンネーム）。これ以外にもまだ何人かメールをくれた先輩がいるので、残りは後日 Classroom の「合格体験記」のコーナーに UP します。

*東北大学文学部人文社会学科 ペンネーム・Rさん

入学から1ヶ月が経ち、ようやく大学の授業や一人暮らしに慣れ始めました。授業はどれもとても面白くて、本来の自分が勉強好きであったことを久しぶりに思い出しました。一人暮らしは意外とどうにかかりましたが、安定した生活リズムや家事の習慣はなかなか身につかず、日々親の偉大さを実感しています。

大学は想像していたよりもずっと面白い場所でした。構内で耳をすませば、全国各地の方言はもちろん、英語を始めとする諸外国語や何を言っているのか全く分からない専門分野についての会話が聞こえてきます。部活やサークル活動に勤しむ人、図書館で勉強する人、授業終了と同時に走り出すバ畜、留学生と話す人、研究室から出てこない人など、学生の在り方も本当に様々でした。大学では少し周囲を見渡しただけでも、見たこともない世界が山ほど広がっています。自分がいかに狭い世界に生きていたのかを知った私は、そのことに衝撃を受け、少しでも知らない世界に触れるために積極的に動くようになりました。最近では、交響楽部だけでなく、留学生との交流イベントの参加や柔道部のマネージャーなど様々なことに挑戦しています。

私の当面の目標は「好奇心を大切にして、自分のキャパシティの許す限り、全力で色々なことに首を突っ込んでいく」です。短い大学生活を後悔なく走り抜けるように全力を尽くしたいと思います。

*新潟大学 創生学部 創生学修課程 ペンネーム・水って大事さん

元気ではありますが、新生活、一人暮らし諸々のストレスとか不安とかで4kgくらい痩せました笑。仲のいい高女生が近くにいたことが何よりも救いです。大学は楽しくないわけじゃないけど、高女ほど楽しいとはまだ思えません(´ω`)男子が怖いと思っていたけど、めっちゃ女子が怖いです。高女の万人みな兄弟みたいな優しさの塊集団を基準値に世の中の女子を考えていたのは本当に大きな過ちでした。男の子はみんな優しいです。学部内ではぼっちになりかねないので、寂しい4年間にならないように部活に入りました。ラグビー部のマネージャーになりました。みんな練習終わりに上裸になります。目のやり場に困りました。なので、選手みんなの筋肉ガン見しておきました。とても美味しそうな筋肉でした…週一くらいで高女の色々な子と電話してます。高女帰りたい。

P.S.新潟のお水ありえないくらいまずいです。



*新潟大学法学部 ペンネーム・K・Sさん

私が現在所属している法学部は、各講義の内容が非常に濃く、学習しがいがあります。また、法学以外にも数学や古典、フランス語など、興味のあることを幅広く学んでいます。まだ入学してわずかですが、自由に学び、自分の考えをプレゼンテーションしたり、議論したりする機会が多く、大学ならではの学習環境に感動しました。高女出身の学生も沢山いるので、本当に楽しいです。第一志望の大学に合格できず、悔しい気持ちはありますが、新潟大学に入学して良かったと思っています。今の目標は、大学独自の制度を使って三年で早期卒業し、東北大学法科大学院に推薦入学することです。高校時代のように勉強漬けの日々になりますが、頑張ります。ちなみに、新潟大学法学部は卒論が必修なので、皆さん気をつけてくださいね!

*早稲田大学人間科学部人間環境科学科 ペンネーム・でんでんさん

大学に入学して1か月くらいたって段々と大学生活に慣れてきました!大学は自由と聞いていたけど思っていたより自由で初めは驚きました。自分のとる授業次第で生活リズムが決められるところや、履修登録や課題など、だいたいのことは先生に強制されるのではなく自発的にやらないといけないところで、もう生徒ではなく学生として責任感をもって過ごさなくてはいけないんだと実感しました。

早稲田大学のいいなと思う点は、いろいろな経歴や考え方を持っている人にたくさん出会えるということです。留学生がたくさんいるので、いろんな国の人と話してみたいと思っていた私からしたら、キャンパスがテーマパークみたいです。中国、韓国、フランス、インド、アメリカからの留学生と交流し、連絡先を交換することに成功しました!いろんな言語を教えてもらって幸せです!また日本の方でも、ドバイの高校に通っていた人や、シンガポールにある早稲田の附属に通っていた人、定年を迎えた後に学び直しに来た人と会うことがあり、驚きが絶えない毎日です。ショックだったことは、志望動機の一つになるくらい取りかかった講義が人気で抽選落ち、入ろうと思った書道パフォーマンスサークルも人気で抽選落ちしたことです。私立のマンモス校の学生の多さを感じました。得点開示で第一希望の大学にわずか5点差で落ちてしまったことがわかり、未練が増えて迷走している毎日ですが、大学に行かせてもらっていることへの感謝を忘れずに、勉強を引き続き頑張ろうと思います。